

# 会議議事録(抄)

会議名	2024年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第1回インテリア系教育課程編成委員会
開催日時	2024年7月22日(月)15時40分～17時00分
会場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下1階 テラホール/9F 904教室
参加者	<p>&lt;外部委員:3名&gt; (順不同・敬称略、役職は委員名簿参照)</p> <p>小山 誠之 (株式会社パワープレイス プレイスデザインセンター教育・公共デザイン部 部長) (欠席)島田 祐輔 (apgm デザインアトリエ/法政大学大学院デザイン工学研究所 兼任講師) 鈴木 俊恵 (STeam/一般社団法人 日本インテリアコーディネーター協会 東京圏支部)</p> <p>&lt;内部委員:1名&gt;</p> <p>高山 寿一郎(専門学校東京テクニカルカレッジ インテリア科科长 議長・書記)</p>
	<p>&lt;第二部 系別分科会&gt;15:40～17:00 9階 904教室</p> <p>1. 議長挨拶(高山)</p> <p>2. 前回(系別分科会)議事録の確認 (高山)</p> <p>3. 就職状況に関する報告・資格試験に関する報告・海外研修実施のお知らせ・RJP に関して</p> <p>4. インテリア科の特徴・強みに関して</p> <p>5. 募集の状況</p> <p>6. 次回予定・閉会の挨拶</p>
討議内容	<p>1. 議長挨拶(高山)</p> <p>2. 前回(系別分科会)議事録の確認 (高山)</p> <p>3. 資料配布</p> <p>「カリキュラムチャート、就職・資格取得状況・海外研修実施のお知らせ・RJP に関して」</p> <p>4. インテリア科の特徴・強みに関して何を打ち出すべきか</p> <p>【高山】</p> <p>5年間学生寮のリノベーションを RJP で行ってきて、4室が出来上がっているということで、見学生に対してもアピールできるのではないかと感じております。カリキュラムチャートからは授業の中身がなかなか見えないので、何を強くしていけば見学生が興味を持ってくれるか見つけ難いと思うのですが、島田先生は RJP の授業に入っていていて学生は楽しんでいるか、授業見て感じられたことはありますか？</p> <p>【島田委員】</p> <p>RJP の授業を学生が楽しんでいるなって感じる。設計実習とはまた違うアプローチの仕方、実際に自分たちの提案しているものが実現されるということで、気持ちの持ち方も自分の作品を作るのとはちょっと違う感じを受けている。</p> <p>ただ一方、東仁(学生会館)さんの要望があって、ある程度コンセプトとかもあるので、自分たちが思っている通りにはならない部分があり、それがすごいリアル。その中で自分たちの最大限の提案をするところは、自分の作品を作ることはちょっと違う。それもリアル感がありリアルジョブだと思う。</p> <p>【高山】</p> <p>東仁さんも学生さんが入寮するので、物が落ちたり、倒れたりしてしまったら危ないということで、照明はペンダントよりもシーリングがいいとか制限があります。シャンデリアを採用したくても、シャンデリアっぽいシーリングにしたり努力をしながら計画している。</p> <p>【島田委員】</p> <p>施主の要望の中で安全性を確保しながら自分たちの提案をしていくコンペ形式で、最大限自分たちが提案したものを作ってプレゼンテーションして、決定案を施主が選ぶ流れなので、そのやり方もすごいリアルだと思う。どこでどう判断されて、選ばれるかっていうのは、単純にデザイン的なものではなく、使い勝手とか、収納力、照明の安全性とか、そういったものを東仁さんは全部見ているので、学生からするとなんでこのグループ(が優勝)なのだろうっていうのも、もしかしたらあるかもしれない。東仁さんとして入寮者に事件・事故があったら困ると思うので、そういった判断もあるのだという話は、学生にも伝えた方がいいかと思う。</p> <p>【高山】</p> <p>今年も予算が 15 万円(家具を揃える)で計画を行う。昨年もお願いをしていたが、リリカラさんに協賛をお願いしていて、今年はしっかりと承諾いただいている。床・壁・天井の素材とカーテンを協賛していただくことになっている。オープンキャンパスで見学生に RJP の授業を伝える際には、リリカラさん(見学生はわからないかもしれないが)とも企業連携しながら仕事ができる。一つの魅力に繋がれば良いと思っている。</p> <p>【鈴木委員】</p> <p>今まで実際に作ってきた寮室で生活している入寮者に感想を貰ったことはあるのか。</p>

【高山】

東仁さんに協力してもらい、住み心地、家具の使い勝手はどうかなど、アンケートを取らせてもらったことはある。

【鈴木委員】

他の部屋は何もない状態だが、なぜ(RJPで)学生が提案した部屋に入寮を決めたのか理由を聴けると、寮室の計画の際の参考になるかもしれない。

【高山】

2020、2021、2023年度の寮室は入寮者がすぐに決まってしまった。2023年度の寮室に関しては完成が3月末に完成して、4月1日から入寮者が入るということで完成した寮室を見学することすらできなかった。

【高山】

デジタルも強みの一つとして考えられると思うのですが、大学と比べるとどのような感じか。

【島田委員】

大学生の場合、グラフィックソフトなどは独学、または先輩に教えてもらいながらやるが、興味ある人はやるが、やらない人と差が激しい。途中から分野がわかれるので卒業制作などはデザイン系の学生とそうでない学生で完成度が違う。このレベルで(デジタルが)全員出来るというのは確かに強みかもしれない。

【小山委員】

大学であればCGなどは個人でやるが、ここであればCGが学べるので良いと思う。

【島田委員】

一つの表現のツールとして持っていると思えると強みになると思う。内観・外観パース、デザイン提案やちょっとした資料(ダイヤグラム)を作る時にも、手描きやWord、Excelで図形を組み合わせるのは大変なので、ちょっとした立体をshadeで作成して資料に使用すればビジュアルの強さがあると思う

【小山委員】

全員ができるところに興味ができる人もいると思う。人が設計したものをビジュアルに起こして、うまく綺麗に見せることが強くなっていく人もいると思う。また、動画などを利用したプレゼンテーションなども増えてきている。

【高山】

仕事では使わないかもしれないがアニメーションなども授業に取り入れている。

【島田委員】

アニメーションの作品は、単純なインテリア空間のウォークスルーだけではなく、3DCGで作成したキャラクターを動かしたり、映画のような作品を作っていたりして、シーンの展開やストーリーの作り方など、一つの作品として上手に作っていると思う。今後はゲームプログラミング科があるので、ゲームエンジンを使ったリアルタイムで部屋を歩き来するアニメーションやVRなどを使った空間体験が出来るといいと思う。

【小山委員】

リアリティに欠けるものはあるが、Unityや共有のフリー素材があり幅が広がると思う。

【島田委員】

モデル(立体)の中を自分であたかもそこに居るかのように動かせるのがゲームエンジンの強み。ウォークスルーだと時系列に沿った一つの流れしか見えない。他学(ゲームプログラミング)科との連携も図ることもできる。空間体験ができる新しいプレゼンテーションができるようになるかと思う。

## 5. 募集の状況

【高山】

現在の募集の状況とBE(ブリッジエンジニア)科の説明。留学生が増えている。見学生の半数は留学生。パワープレイスさんでは、現在外国人の社員は居ますでしょう。

【小山委員】

現在1名居ます(中国国籍)。デザイン・CG系の仕事をしている。留学生は日本に就職を求めてきているのか。国籍は？

【高山】

日本での就職を希望しています。インテリア科は、中国、モンゴル、ベトナム国籍の学生。全体ではネパール、ミャンマー国籍が増えている。BE 科の留学生の進学先は自動車系が多い。今後、留学生が増えてくると就職指導、就職先企業の開拓がさらに大変になる。

【島田委員】

他の専門学校も留学生は増えているのか。

【高山】

増えていると思います。

【小山委員】

大学も増えている。特に地方の大学が増えている。

【高山】

日本語能力がある程度あれば、楽しく勉強ができるのだがN2(JLPT2級)レベルは持っていてほしい。

【鈴木委員】

過去も含めて留学生の授業態度はいいと思う。やる気があって来ているのだと思う。

【高山】

2024年問題(物流)に関してや、現場のオートメーション化から何か感じられていることはあるでしょうか。

【小山委員】

運送だけではなく建築廻りに影響があると思う。建築に影響があるので他も細かい支障は出てきている(納期など遅れなど)。

公共建築の入札不調が多い。当初の予算より人件費・材料費が上がっている(30、40%)。

【鈴木委員】

せっかく卒業生を沢山輩出しているのだから、在校生に対して卒業生に仕事の話などをしてもらうのはどうでしょうか。

【高山】

スタジオアワー等を利用しながら卒業生に話をしてもらおうと思っている。

【島田委員】

いろいろな年代の先輩卒業生にスタジオアワー等に数人来てもらって、雑談みたいな形で仕事の話をしてもらうのが良いかと思う。就職・働くというビジョンとは関係なく先輩との縦のつながりが作っていきけると良いと思う。

【高山】

同窓会からも卒業生を呼んで同窓会をアピールするように言われています。

【島田委員】

昨年度3月2日の学習成果展示後に卒業生を呼んだが、現役生を含めた小さなイベントを設けると良いかと思う。

【高山】

今後オープンキャンパスでは、インテリア科の特徴・強みは、今までやってきたこと(デジタルスキル習得・家具製作・アニメーション・校外学習・RJP)を丁寧(アピールの仕方を変えて)に伝えていきたい。

6.次回予定・閉会の挨拶

【高山】

今回は、2024(令和6)年11月29日(金) 開催予定です。